



学校体育功労賞を受賞して

八代市立第一中学校 校長 塚副 徹

平成30年度熊本県学校体育功労賞受賞の栄誉を賜り、心より感謝申し上げます。

この受賞は、中体連・中体研で育てていただいたお陰でありますし、素晴らしい仲間に出会い、支えてもらったお陰だと感謝しております。

昭和57年に鹿本町立来民小学校を経て、小学校勤務6年間を過ごしましたが、どうしても中学校の体育の教員になりたいという夢をあきらめきれず、昭和63年に中学校を希望し、八代市立第三中学校に赴任させていただきました。

しかし、現実には甘くなく、生徒指導、部活動指導と小学校とは比べものにならないくらいの業務量や休みのない日々には驚かされたことを思い出します。そういう中、八代中体連で同世代の3人の仲間との出会いは、私にとっては心強く4人で八代中体連を盛り上げていこうと誓い合い、お互いが切磋琢磨して臨んできたことは、私の糧となり、宝となりました。この3人の仲間のお陰で、今の私があるのだと思っております。本当に素晴らしい友に出会えたことをありがたく思います。

部活動の指導では、体育の先輩から、「体育が一番最後に残った部活動を指導しなければならない」と言われ、自分の専門外の種目ばかりを指導してきました。指導については初心者同様でその都度、専門の先生に指導方法を教えてもらったり、練習試合をさせてもらったりしながら自分の学びとして取り組み、生徒たちへ指導していきました。その甲斐もあり、バレーボールでは県でベスト8、バスケットボールでは結果は出ませんでした。そのメンバーで通信陸上の低学年リレーに出場し、九州大会出場を果たしました。その九州大会では、バトンパスのミスはありましたが、4位入賞することができました。その当時の生徒たちは私ではなく、よい指導者に恵まれればもっとよい成績を取められたかもしれません。しかし、私にとってはかけがえのない経験となり、よい思い出となりました。

教頭の時には、二人の中体連の先輩校長の下で勤務させていただき、学校経営から人材育成など管理職として必要な様々なことを教えていただきました。

校長になってからは、八代中体連副会長を2年、八代中体連会長の補佐として、その後、八代市教育委員会教育部学校教育課長として、熊本県中学校総合体育大会八代大会の開催に向けての予算や会場等の使用料等の確保などに奮闘し、また、現場に復帰した際には八代中体連会長として4年間、微力ではありましたが、熊本県中体連のために関わらせていただきました。

中体連に関わらせていただいた約30年間、素晴らしい友や仲間との出会い、支えがあったからこそ今の私があると思えます。出会いと仲間感謝申し上げます。

最後になりましたが、熊本県中体連・中体研の益々のご発展と関係者の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、ご指導、ご支援いただきました多くの皆様に感謝を申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。